

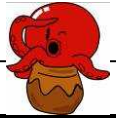
兵庫県水産技術センターだより

貝毒情報(マガキ) KD-30-50号

平成30年12月26日発行

プランクトン及び貝毒検査を12月24日～26日に実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】・貝毒検査(12/26)の結果、播磨灘(高砂・姫路・たつの・相生・赤穂)で採取したマガキから規制値(4MU/g)を上回る麻痺性貝毒は検出されませんでした。
・貝毒原因プランクトンが確認されています。



【検査結果】

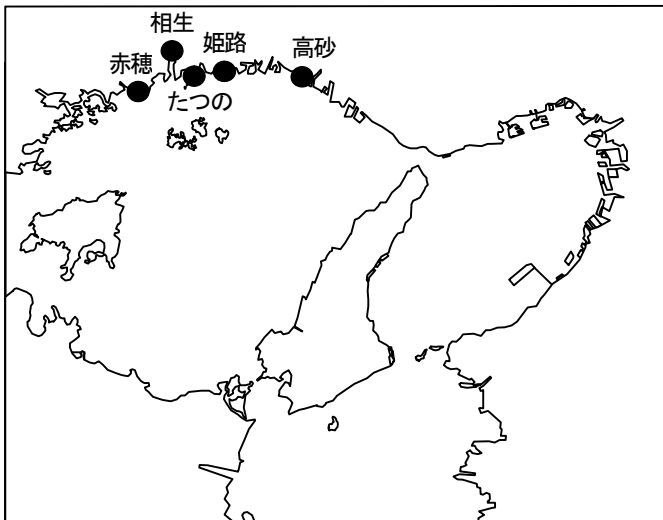
年月日(採水・採取)	H30.12.24	H30.12.25	H30.12.25	H30.12.25	H30.12.25
地点(St)	高砂	姫路	たつの	相生	赤穂
水温(°C)	—	—	—	—	—
塩分	31.8-32.0	31.5	31.5-31.6	31.1	31.2-31.5
貝類の毒化状況 [マウスユニット/g]	麻痺性貝毒				
	3.4	2.4	ND	ND	ND
麻痺性貝毒原因プランクトン アレキサンドリウム <i>Alexandrium</i> spp. (個数/mL)	0.9~10.7	0.1	0~0.1	0	0
下痢性貝毒原因プランクトン ディノフィシス フォルティ <i>Dinophysis fortii</i> (個数/mL)	0	0	0	0	0
ディノフィシス アキュミナータ <i>Dinophysis acuminata</i> (個数/mL)	0	0	0	0	0

※*Alexandrium* spp.は、*Alexandrium tamarense*と*Alexandrium catenella*を含む複数種の合計値。

※高砂、たつの、赤穂の海水調査は、複数調査地点の結果を範囲で示しています。

※NDとは、検出限界以下のことです。

※下痢性貝毒の検査は、兵庫県及び近隣府県の貝毒及びプランクトンの発生状況を考慮し必要に応じて適宜実施します。



<規制の基準>

可食部の毒量が

麻痺性貝毒:4マウスユニット/g

下痢性貝毒:0.16mg オカダ酸当量/kg } を超えた場合

<注意が必要なプランクトン密度>

・麻痺性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

アレキサンドリウム タマレンセ
Alexandrium tamarense 5 個数/mL 以上

アレキサンドリウム カテナラ
Alexandrium catenella 50 個数/mL 以上

・下痢性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

ディノフィシス フォルティ
Dinophysis fortii 50 個数/mL 以上

※密度の単位は 個数/mL 表記とします。

(海水1ミリリットルあたりのプランクトン個数)

【今後の情報予定】

・1月7日の週にマガキ(播磨灘)の調査を

予定しています。調査結果がまとまり次第「貝毒情報」としてお知らせします。

§お問い合わせ先§

・貝毒による規制等に関すること：兵庫県農政環境部農林水産局水産課資源増殖室(担当：漁場整備班)

Tel:078-341-7711(内4163、4164)

・貝毒調査に関すること：兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター(担当：水産環境部 都倉・宮原)

Tel:078-941-8602

Fax:078-941-8604

Homepage: <http://www.hyogo-suigi.jp/>